

**FY2024**  
(2024年11月期)

# 決算説明資料

**アルテック株式会社**

(証券コード：9972 東証スタンダード)  
2025年2月18日

- FY2024 経営成績概要 3 P
- FY2024 セグメント別業績 5 P
- FY2024 連結財政状況 9 P
- FY2025 連結業績予想 12 P
- 中期経営計画の進捗 15 P

# FY2024 経営成績概要

# FY2024 連結業績 (2023年12月1日～2024年11月30日)

**売上高**

**18,233** 百万円  
(前期 17,832 百万円)

増減額	増減率
+401 百万円	+2.2%

**営業利益**

**△148** 百万円  
(前期 △275 百万円)

増減額	増減率
+127 百万円	—

**経常利益**

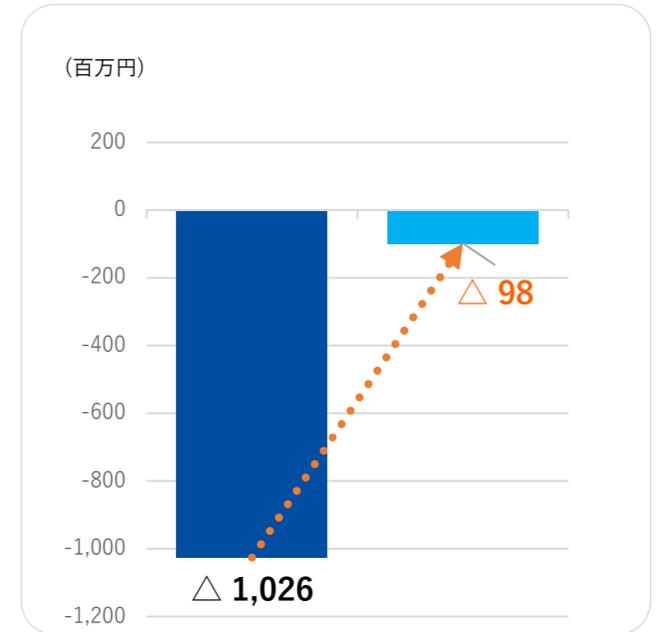
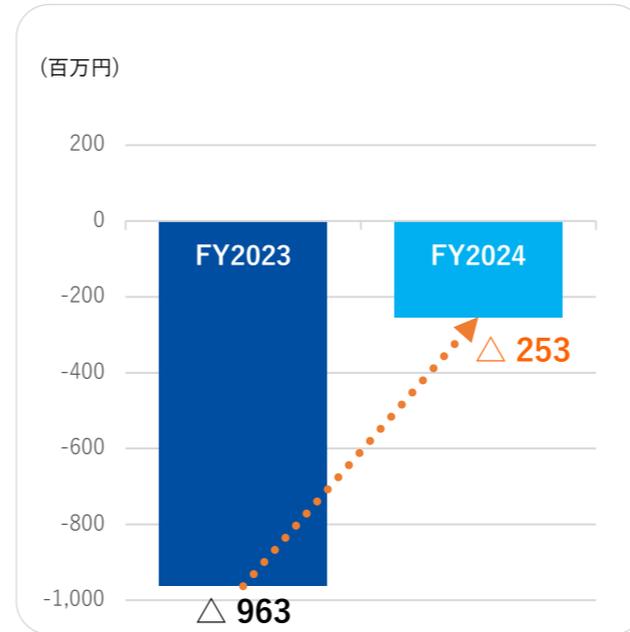
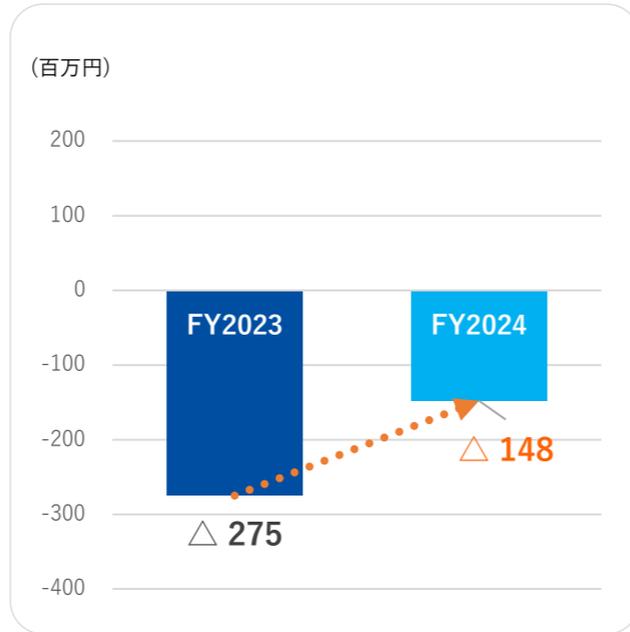
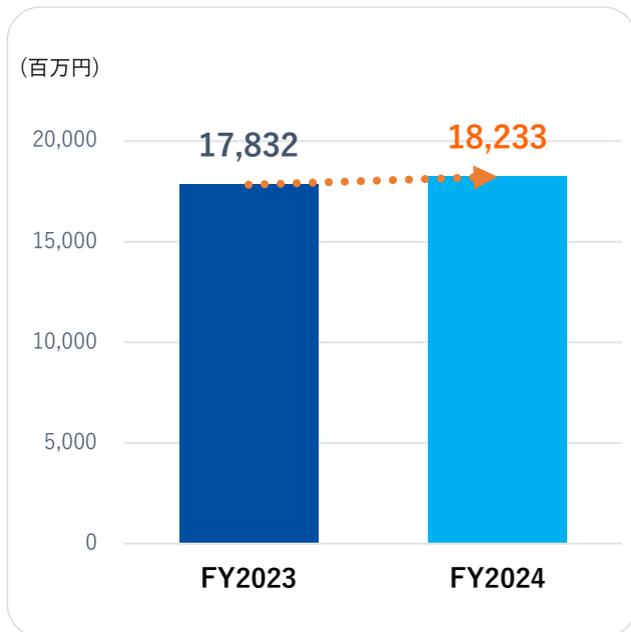
**△253** 百万円  
(前期 △963 百万円)

増減額	増減率
+709 百万円	—

**親会社株主に帰属する  
当期純利益**

**△98** 百万円  
(前期 △1,026 百万円)

増減額	増減率
+927 百万円	—



# FY2024 セグメント別業績

# FY2024 商社事業の業績 (2023年12月1日～2024年11月30日)

売上高

**8,764** 百万円 (前期 **10,317** 百万円)

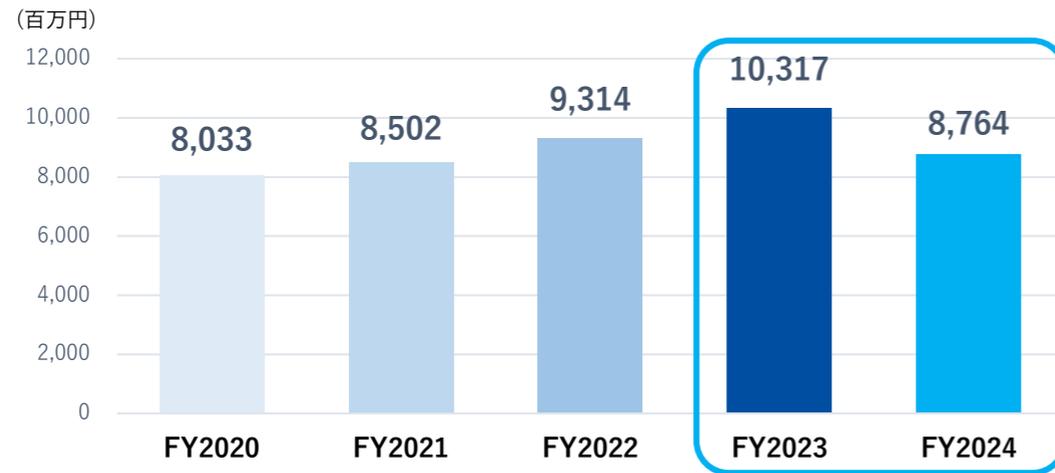
増減額	増減率
△1,552百万円	△15.1%

セグメント利益

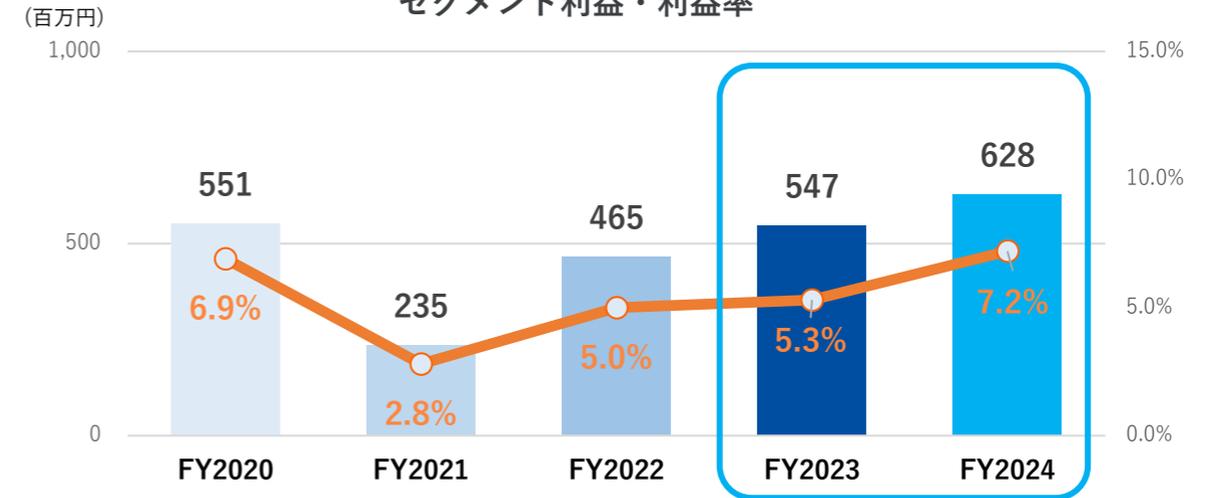
**628** 百万円 (前期 **547** 百万円)

増減額	増減率
+80百万円	+14.7%

売上高



セグメント利益・利益率



【主な要因】

フレクソ印刷機、廃棄プラスチック再生処理機械、ネストシリンジ充填ライン等の大型機械の検収が完了し、長野県伊那市および栃木県那須塩原市に対して新規商権の小型電気バス「e-JEST」を納車したほか、新規商権の次世代ハイブリッド会議ソリューション関連商品の販売が好調に推移いたしました。一部の案件に検収遅延が生じている影響等により減収となったものの、コストコントロールの徹底に努めたこと等により増益となりました。

商社事業の業績推移

	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
売上高	8,033	8,502	9,314	10,317	8,764
セグメント利益	551	235	465	547	628
セグメント利益率	6.9%	2.8%	5.0%	5.3%	7.2%

# FY2024 プリフォーム事業の業績 (2023年12月1日～2024年11月30日)

**売上高**

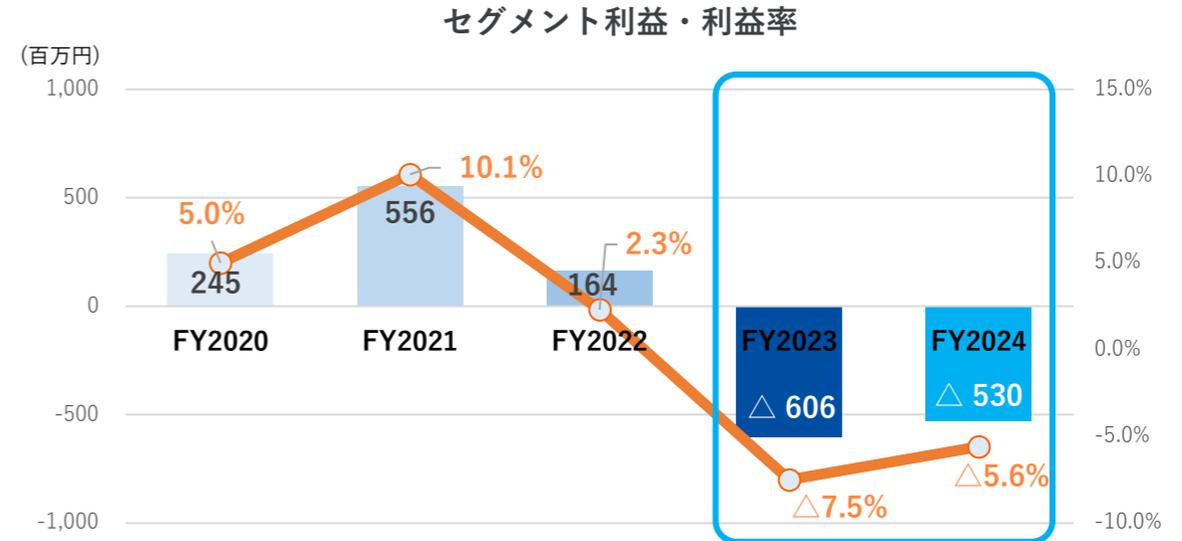
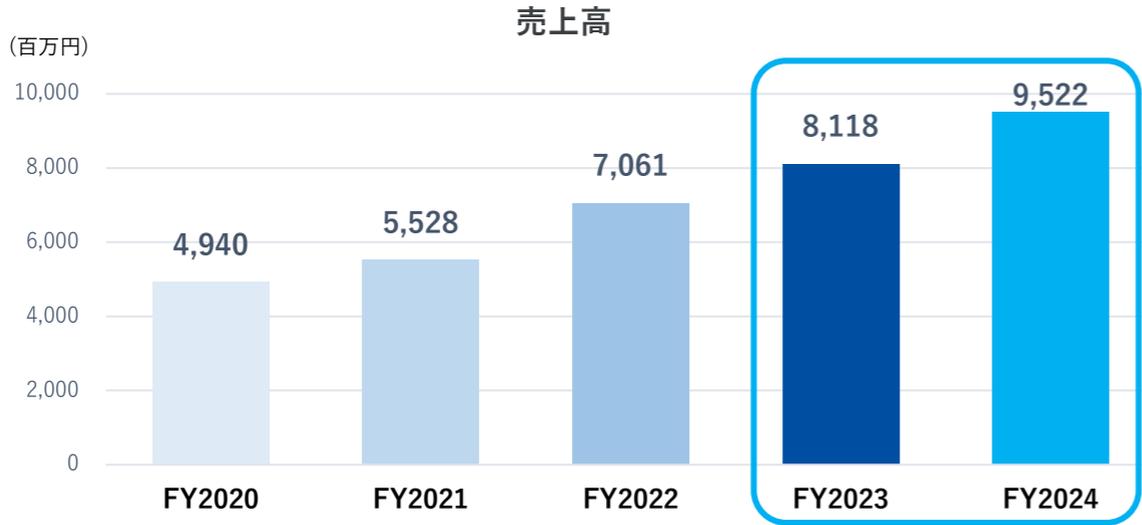
**9,522** 百万円 (前期 8,118 百万円)

増減額	増減率
+1,403百万円	+17.3%

**セグメント利益**

**△530** 百万円 (前期 △606 百万円)

増減額	増減率
+75百万円	—



**【主な要因】**

飲料用プリフォームの販売数量が増加したほか、前連結会計年度に連結子会社化した六盤水愛而泰可環保科技有限公司の再生フレークの販売が増収に寄与しました。

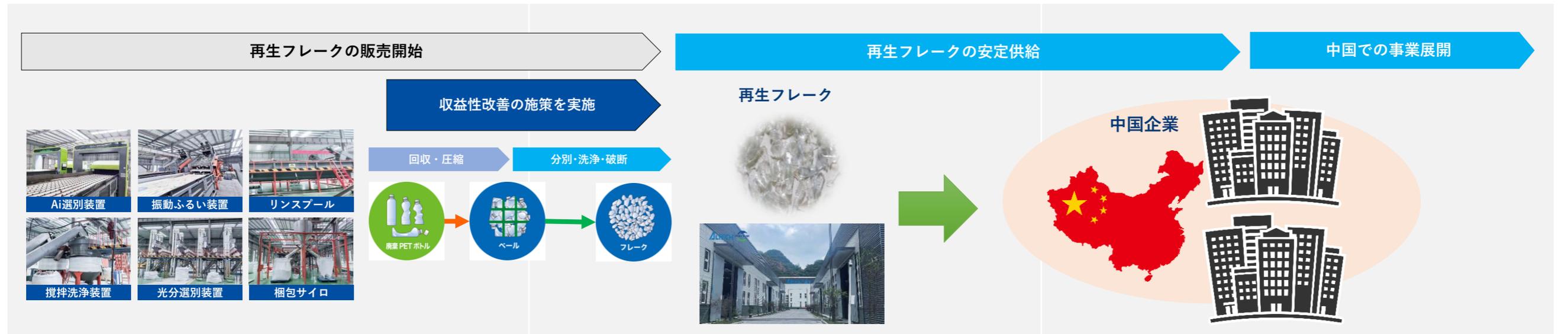
一部の飲料用プリフォーム製造工場での歩留まり改善を目的とした生産設備のオーバーホールの実施や新規事業である再生ペレット・再生フレーク事業の一時的な初期投資負担の発生の影響を受けつつも、収益性改善に向けた取組みの効果が発現し始めたことで赤字幅が縮小しました。

**プリフォーム事業の業績推移**

	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
売上高	4,940	5,528	7,061	8,118	9,522
セグメント利益	245	556	164	△606	△530
セグメント利益率	5.0%	10.1%	2.3%	△7.5%	△5.6%

# プリフォーム事業 新規事業のロードマップ

## 再生ペレット・再生フレークのロードマップ



# FY2024 連結財政状況

## FY2024 連結財政状況

(単位：百万円)

	2023年11月期	2024年11月期	増減額
	金額	金額	
流動資産	12,740	12,377	△363
有形固定資産	7,121	5,936	△1,184
無形固定資産	532	281	△251
投資その他の資産	1,150	896	△254
資産合計	21,545	19,492	△2,053

	2023年11月期	2024年11月期	増減額
	金額	金額	
流動負債	8,137	6,993	△1,143
固定負債	1,587	1,335	△252
負債合計	9,724	8,328	△1,396
純資産	11,820	11,163	△656
負債純資産合計	21,545	19,492	△2,053

## (流動資産) 12,377百万円 (前連結会計年度末比 △363百万円)

- 現金及び預金、原材料及び貯蔵品の増加
- 売掛金・前渡金・短期貸付金の減少

## (固定資産) 7,114百万円 (前連結会計年度末比 △1,690百万円)

- 有形固定資産：愛而泰可新材料（蘇州）有限公司第4・5工場の売却等
- 投資有価証券：政策保有株式の売却等

## (流動負債) 6,993百万円 (前連結会計年度末比 △1,143百万円)

- リース債務の増加
- 買掛金・短期借入金・前受金の減少

## (固定負債) 1,335百万円 (前連結会計年度末比 △252百万円)

- リース債務の増加
- 長期借入金の減少

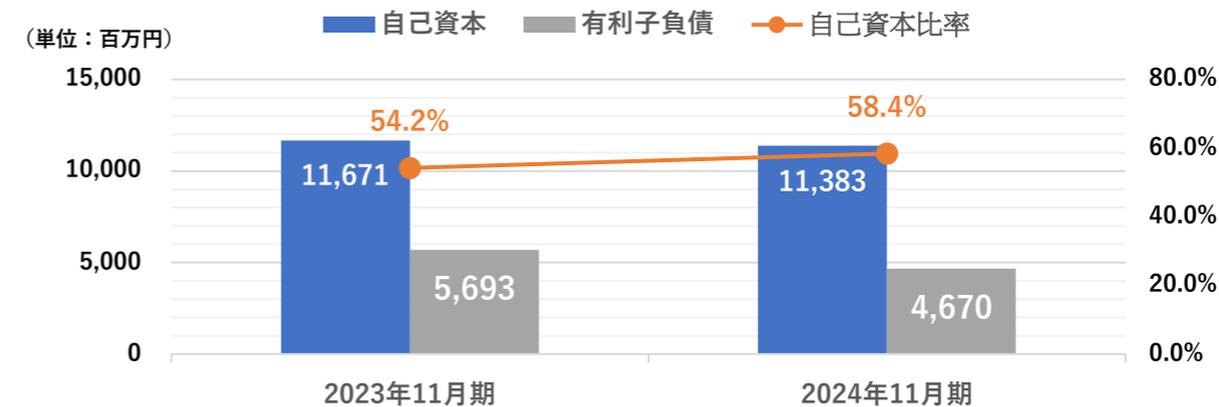
## (純資産) 11,163百万円 (前連結会計年度末比 △656百万円)

- 配当金・親会社株主に帰属する当期純損失の計上による利益剰余金の減少
- 非支配株主持分の変動影響

## 自己資本等の状況

(単位：百万円)

	2023年11月期	2024年11月期	増減額
	金額	金額	
自己資本	11,671	11,383	△288
自己資本比率	54.2%	58.4%	—
有利子負債	5,693	4,670	△1,023

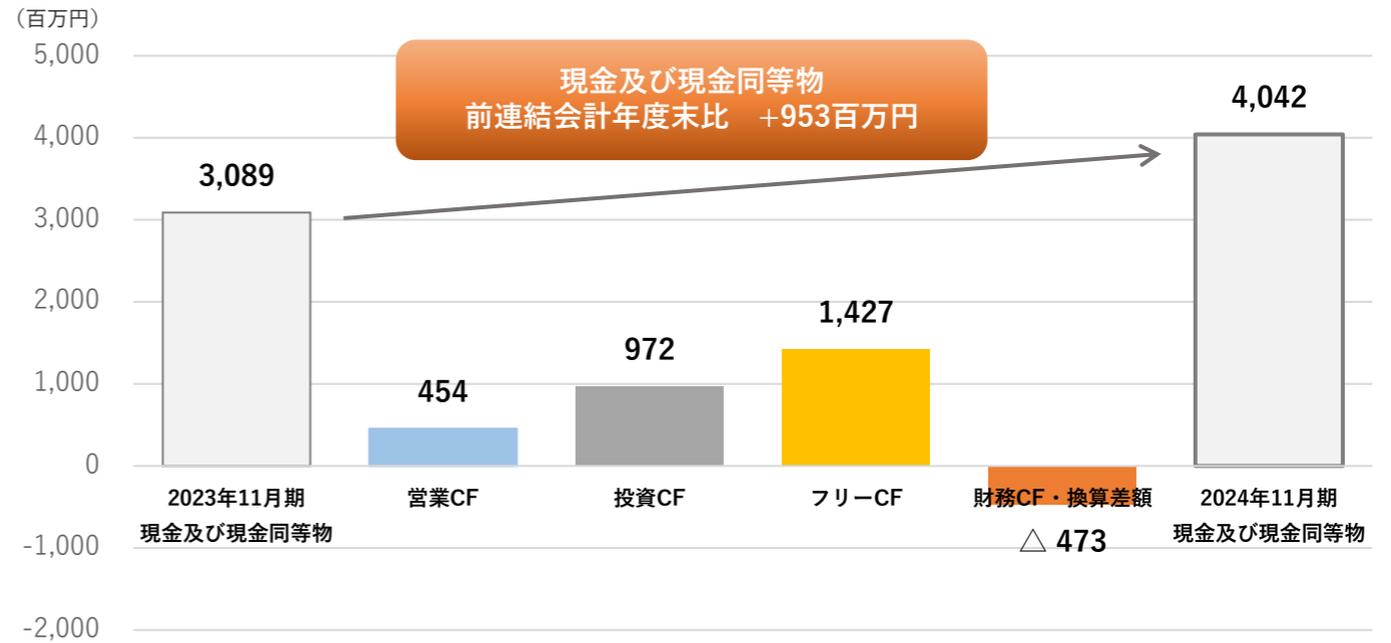


# FY2024 連結キャッシュ・フロー状況

## 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	FY2023	FY2024	FY2023-FY2024 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 937	454	+ 1,392
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,436	972	+ 3,409
フリー・キャッシュ・フロー	△ 3,374	1,427	+ 4,801
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,367	△ 445	△ 2,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△ 28	△ 48
現金及び現金同等物の期末残高	3,089	4,042	+ 953



### (営業活動によるキャッシュ・フロー) +454百万円 (前連結会計年度は△937百万円)

- 税金等調整前当期純利益 △241百万円
- 減価償却費 +816百万円
- 売上債権の減少 +295百万円 (売上高は前連結会計年度比増)
- 大型案件のFY2025売上延伸等による棚卸資産増加 △121百万円

### (投資活動によるキャッシュ・フロー) +972百万円 (前連結会計年度は△2,436百万円)

- 投資有価証券の売却収入 +216百万円
- 愛而泰可新材料(蘇州)有限公司の第4・5工場等の固定資産の売却収入 +1,860百万円

### (財務活動によるキャッシュ・フロー) △445百万円 (前連結会計年度は+2,367百万円)

- セール&リースバックによる収入 +639百万円
- 短期借入金 △597百万円、長期借入金の返済 △146百万円、リース債務の返済 △241百万円

# FY2025 連結業績予想

# FY2025 連結業績予想 (2024年12月1日～2025年11月30日)

## 売上高

**20,000** 百万円  
(前期 18,233 百万円)

## 営業利益

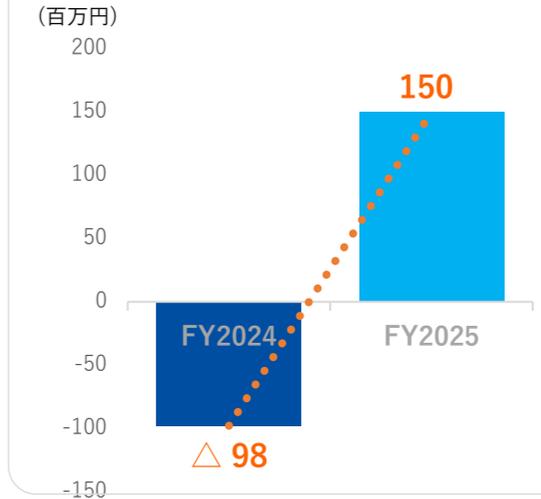
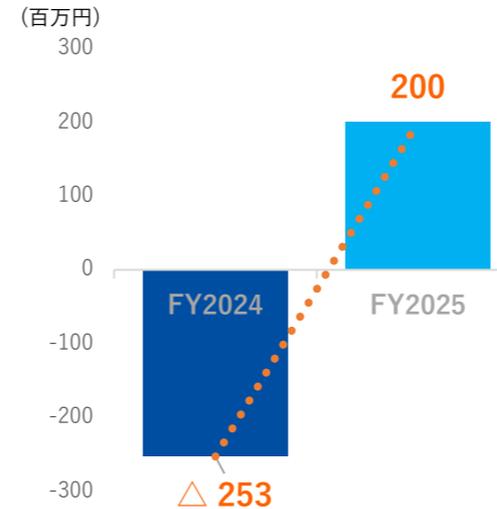
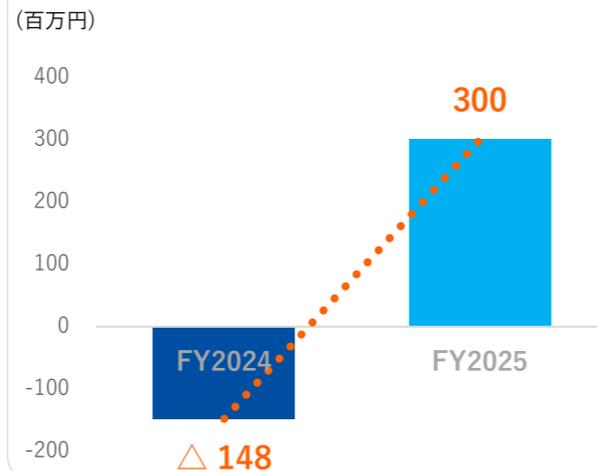
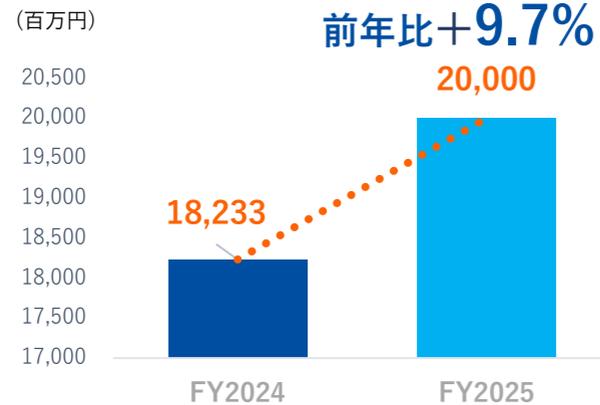
**300** 百万円  
(前期  $\Delta$ 148 百万円)

## 経常利益

**200** 百万円  
(前期  $\Delta$ 253 百万円)

## 親会社株主に帰属する 当期純利益

**150** 百万円  
(前期  $\Delta$ 98 百万円)



### ■ 2025年11月期の見通し

- 商社事業：小型電気バスや次世代ハイブリッド会議ソリューション関連等をはじめとする新規商権での新たな売上高確保と、印刷・包装関連、医療・医薬関連等の既存商権での安定的な収益確保に努めます。
- プリフォーム事業：飲料用プリフォームの販売は順調に増加しており、引き続き需要動向に応じた適切な販売・在庫対策を推進するとともに、再生ペレット・再生フレーク関連ビジネスの収益性の早期改善に努め、業績の回復に全力で注力します。

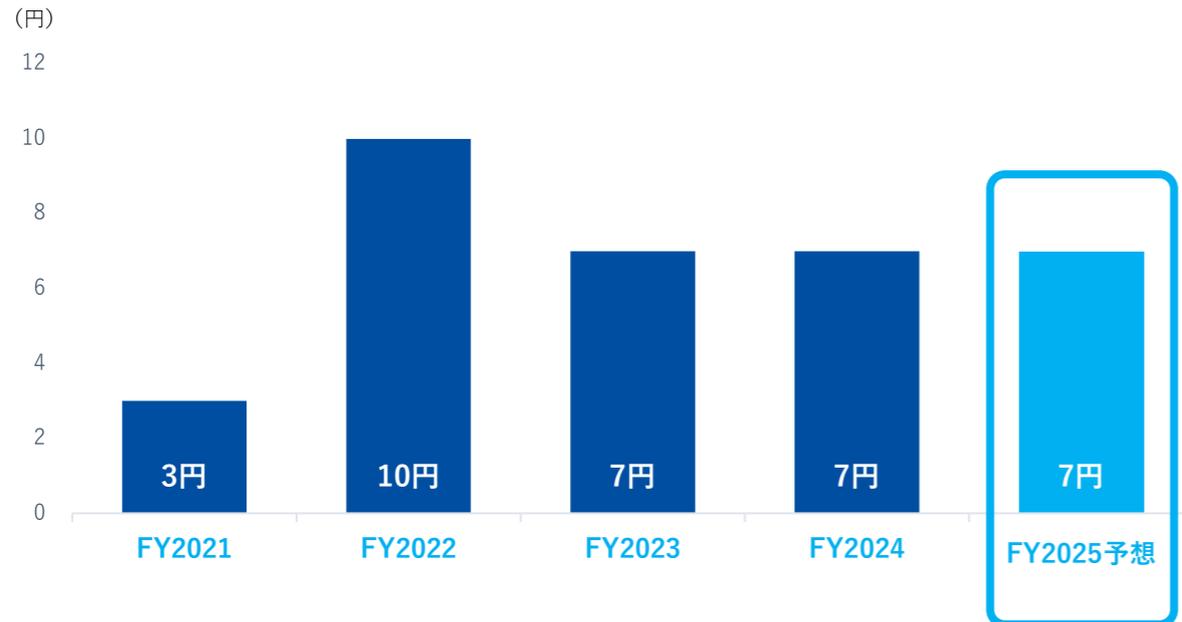
## 利益配分（配当・連結配当性向・EPS）

株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、企業業績および資本効率の向上に努め株主還元の更なる充実を図ってまいります。

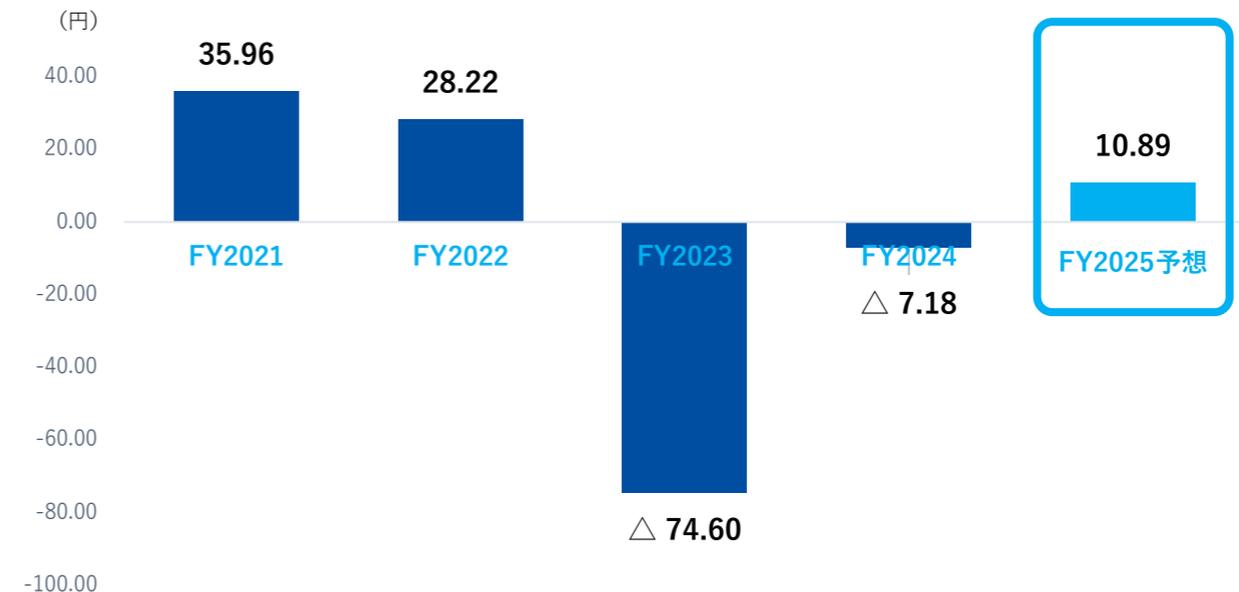
- 利益の配分は、経営環境の変化や将来の事業展開に備えて財務体質の強化に留意。
- 剰余金の配当は、連結および単体における利益剰余金の水準を勘案した安定配当を実施。
- 2022年11月期より連結配当性向30%以上を目標値に設定。

	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024実績	FY2025予想
配当	3円	10円	7円	7円	7円
配当性向（連結）	8.3%	35.4%	—	—	64.3%
EPS（1株当たり当期純利益）	35.96円	28.22円	▲74.60円	▲7.18円	10.89円

配当の推移



1株当たり当期純利益（EPS）の推移



# 中期経営計画の進捗

## 【現中期経営計画の振り返り 閲覧場所】

IR情報ページ TOPページ ( <https://www.altech.co.jp/ir/> )

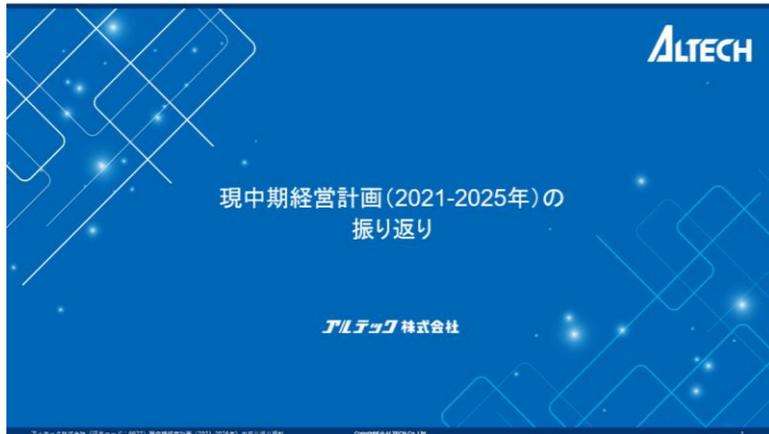


業績・財務情報

IRライブラリ

一覧

## 【現中期経営計画の振り返り 直接リンク】





※将来に関する記述等についてのご注意

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づき、当社が判断した内容であり、潜在的风险および不確実性が含まれております。これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本情報および資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。